

おばなざわ 市議会だより

109号

令和3年5月1日発行

3月定例会	
予算の審議	2
総括質疑	4
予算特別委員会	6
補正予算・請願	8
一般質問	9
広域組合議会	22
特集・報告	23
私のひとこと	24

〱 白い手拭い
千羽の鶴よ
亀も目出度い
どんづき石
〱 徳良堤に
貯めたつ水は
二百余所歩の
田にかかる



祝 徳良湖築堤100周年

私のひとりごと



矢越 林蔵院神主
(ドツキ市 代表)
横澤 孝博 さん

「オバネも楽しいよ！徳良湖畔、まだ知らない徳良湖を、ちよっと知らなかったお店に出会えるマルシェを」と始めたドツキ市。コロナ禍により開催もままならぬ去年の10月、3年に1度の湖底維持の水抜き作業と丁度重なり、徳良湖の湖底が見られ、湖底に立てる状態となりました。まるつきり築堤当時の状況では無いにしろ「大正時代に思いを馳せながらドツキしてみよう!!!」と運ぶ運びになりました。

先人に思いを馳せて

さんの鶯の声の助けもあり実現しました。

肝心のどんつき作業の再現は「唄に合わせて、息を合わせて〜♪」と御指導をいただいた…とは言つものの…最初はにわか作業のへっぴり腰(笑)なかなか息が合わず(笑) あっちゃんこつちゃ〜(笑) ドンツキ石が飛んで行ってしまいました。何度も何度も「ドンツキ」するうち各々、湖底に笑い声響き、面白おかしな再現となったと思います。

時節柄、なかなか集まらない。今。築堤百年、花笠音頭の元唄を尋ねれば、当時の作業、へっぴりながらも、面白おかし〜。

※矢越の方言

解説

大正10年、2年の歳月と延べ工夫7万人を要した徳良湖築堤完成から、今年100周年を迎える。地元若者の横澤さんが土搗き作業を再現した。息を合わせる土搗き唄が花笠音頭の元唄となった。歌詞の美事と面白さは、星川茂平治氏著「徳良湖と花笠音頭」・石丸弥平氏画文集「ふるさとの覚えがき」に詳しい。創業の高宮常太郎氏と先人に感謝し祝いたい。



どんつき作業再現

あとがき

今冬は平成29年度以来の大雪になり、除排雪にはとても苦労させられました。

よつやく雪解けも進み、徳良湖畔の桜も元気に咲き、市内の農業も順調に進んでいる今日この頃であります。

今年徳良湖築堤100周年の年にあたります。先人の想いを表紙にしたためました。われわれ編集委員もさらなる尾花沢市の発展のため、充実した議会だよりをお届けしたいと思っております。

(菅野 喜昭)

発行責任者

- 議長 大類 好彦
市議会だより編集委員
委員長 鈴木 清
副委員長 和田 哲
委員 塩原未知子
委員 伊藤 浩
委員 菅野 喜昭
委員 安井 一義
委員 鈴木由美子

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

令和3年度 尾花沢市予算を決定

「このまちでともに生きる」新予算

※**新**は新規事業、**拡**は拡充事業、**継**は継続事業です。

総額
157億
4,106万円

一般会計	
109億6,500万円	
特別会計	
47億7,606万円	
区分	金額
国民健康保険	19億2,089万円
中央診療所	4億1,045万円
簡易水道	2億3,744万円
国営村山北部土地改良	55万円
農業集落排水	8,423万円
介護保険	19億1,620万円
後期高齢者	2億630万円

①キラリと光る産業のまち



徳良湖築堤100年・土搗作業

地域資源を活かした活力あるまち

- 新** 徳良湖築堤100周年記念事業 1,369万円
- 新** 儲かる農業支援事業 1,110万円
- 新** 地域活性化起業人推進事業 560万円

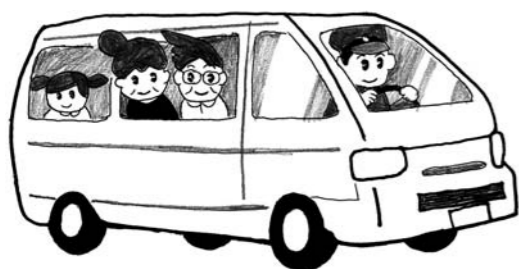
②ふるさと愛を育むまち



若者の定着と子育て日本一のまち

- 拡** 結婚・出産祝品支給事業 775万円
- 新** 子育ていきいき企業支援事業 50万円
- 継** 病児病後児保育事業 1,055万円

③健康長寿と絆のまち



みんなが元気に暮らせるまち

- 新** 公共交通再編事業 886万円
- 拡** 高齢者社会参加促進事業 1,141万円
- 拡** 地域福祉活動推進事業 809万円

④暮らしやすく 住み続けられるまち



雪や災害に強いまち

- 拡** 防災行政無線整備事業 816万円
- 新** ドーザ除雪機購入事業 4,000万円
- 拡** ふるさと暮らし応援事業 4,884万円

⑤笑顔の花咲く交流と協働のまち



互いに支え合い誰もが活躍できるまち

- 拡** 移住推進協議会負担金 455万円
- 新** 地域活性化事業 1,425万円

定例会のあらまし

令和3年3月定例会は、3月2日から19日まで18日間の会期で開催されました。
令和2年度補正予算7件、令和3年度一般会計・特別会計予算7件、条例の一部改正・
制定・廃止22件、指定管理者の指定2件、人事案件3件、いずれも原案通り可決しました。
また、議会発議による尾花沢市議会議員政治倫理条例が議決しました。請願3案件のうち、
2件を採択し、継続審査の1件は不採択となりました。その主な内容を紹介します。

総括質疑

これで良いのか？ 新予算

12名の議員 熱い議論



名木沢生涯スポーツ交流センター

市債と 基金の状況

Q 年度末に市債残高が毎年2億円程度減少してきているが、市民一人当たりの市債と基金はどれくらい金額になっているか。

(鈴木 清)

A 市債残高は一人当たり82万6千円。基金残高としては11万4千円となる見込み。ただし市債のうち過疎債で7割が国からの交付税措置されるので24万8千円となる。

学園構想等資料 作成業務委託料

Q どの段階まで計画は進んでいるのか。議会へはどの段階でいつごろ示されるのか。

(鈴木裕雅)

A 尾花沢小中学校、保育所の敷地面積を参考に都市計画区域内で

名木沢生涯スポーツ 交流センター

Q もっとゲーム用具やスポーツ用具をそろえてもらえないか。

A 今後の道具の配備は、区長や地域住民と話をし、地域の交流施設と活性化につながる施設にしていきたい。

Q 足の悪い方でも使えるよう玄関にスロープを付けられないか。

A 避難所の要望もあり、スロープの設置の必要性も高まること想定されるので、関係課と協議していきたい。

(奥山 格)

の7haから8haを確保できる消防署北・警察署北・34号丁字路北・長寿園北・花笠二ニュータウンと農産加工所の間の市内5か所を抽出。今後は多角的視点から適地を絞り込みたい。

消防団の 手当の見直し

Q 消防団の手当の見直し議案が上程されているが、広報手当が対象となっていない。予防消防活動の充実のためにも検討すべきであると考えられるがどうか。

(伊藤 浩)

A 災害出動手当となっており、火災予防などの広報活動は、今回の改正案の中には含まれず対象外となっている。関係課、近隣市町村、隣県などを参考に検討していきたい。



市の花(イヌツツシ)

徳良湖築堤 100周年記念

Q 徳良湖築堤100周年記念の野外ステージや徳良湖一周花笠踊りの実施方法、駐車場対策やコロナ対策についてお伺いしたい。

(青野隆二)

A 徳良湖まつりと同時に、花笠踊りは1千人の踊り手を募集する。コロナ対策としては、3m以上の間隔を確保する。屋外ステージは朝倉さやさんなど県内出身歌手を招き、ラッピングトラックにステージを設ける。

ふるさと尾花沢 応援基金事業

Q サイトが増えすぎて煩雑。尾花沢スイカの偽造対策と地域活性化につながる戦略的なブランディングが必要ではないか。

(塩原未知子)

A 選ぶ際に、どういう風に見えるのかなどの対策を考えたい。質に対する評価については、生産者である個人・JAなどでの統一的な規格を目指すことが課題で研究に努める。



夏スイカ日本一 おいしさ日本一

道路新設改良 事業

Q この度計上されている荒楯籠気線の道路改良区間は。

(星川 薫)

A 市道Ⅱ-3交差点から県道東根尾花沢線までの450m区間で、令和3年度は測量設計、令和4年度は用地測量問題がなければ令和5年度から工事着手となる。

空き家物件調査 業務委託料

Q 空き家物件調査業務委託料の内容はどのようなになっているのか。また委託先はどこなのか。

(安井一義)

A 空き家バンクに登録の際に、物件の状態や図面作成などの業務を行う委託料。登録可能15件不可3件を見込んでいます。委託先は二

ふるさと暮らし 応援事業

Q 新築住宅助成の新規事業の内容と、新規助成金額の加算で最大助成金額はいくらになるか。

(小関英子)

A 現在居住する住宅を解体し建て替える場合、または市内に建て替える場合に50万円が加算になる。新築基本助成(建築価格の10%)上限100万円・市内建築業者加算30万円・子育て世帯など加算20万円と合わせると最大200万円となる。

路線バス待合所

Q 高校生を対象にした路線バスが新規開通される予定だが、その運行時間は市役所の閉庁時間帯であり、早朝はまだ暗い時期もある。安心して利用できる待



市役所前バス停(現在)

道路維持費の 委託料

Q 除雪情報提供システム(GPS)運用事業の概要は。

(菅野喜昭)

A 市道除雪のすべての車両にGPSを搭載し、除雪車両の現在地をインターネット上に公開し、住民に対し除雪状況を広く周知している。住民の安心安全な生活を確保するために平成28年度から導入している。

令和3年度は、システムの保守業務委託料として48万円を計上している。

議長 大類 好彦
予算特別委員長 鈴木由美子
2名は役職の立場上 質疑はできません。

予算特別委員会 分科会委員長報告

第一分科会 総務文教常任委員会

第二分科会 産業厚生常任委員会

一般管理費

徳良湖築堤100周年に際し、市民とともに祝い得るよう、ふるさと大使にメッセージを寄せていただくよう要望した。



広報費

若い世代の活動を市報で積極的に取り上げ、SNSやHPで紹介するなど、若者が市報に興味を持てる仕掛けづくりを要望した。

路線バス運行費

市民がより利用しやすいバス運行と管理の在り方について、関係部署と連携し検討するよう要望した。

防災対策費

空き家対策について、空き家の適正管理促進のため、空き家対策特別措置法の適用も含めた抜本的対策を要望した。

また、自然災害に対し自主防災組織ごとに、災害に備えるための避難訓練などが重要となってくる。防災出前講座などを通じた住民への啓発と、組織の育成について要望した。

戸籍住民基本台帳費

証明書コンビニ交付サービス導入について、市役所閉庁時間でも、各種証明が受けられるコンビニ交付のメリットを広く周知するよう要望した。

教育振興費

オンラインでの学校合同授業の開催や、市

内の企画展のオンライン参加など、新しい授業方法の手段として、積極的に活用されるよう要望した。

体育振興費

オリンピックの開催期間だけでなく、パラテコンドーに出場予定の太田渉子選手の凱旋企画なども検討するよう要望した。



雪対策・新エネルギー推進費

再生可能エネルギー設備導入事業費補助金について、停電も増えていることから、蓄電設備導入も補助対象とされるよう要望した。



社会総務費

社会福祉協力員が全地区に配置され、要援護者への対応が迅速に行われるよう要望した。

予防費

医師をはじめ接種にあたる従業者も含め十

分に感染予防に努められ、円滑に事業が推進されるよう要望した。

環境衛生費

観光資源でもある徳良湖の水質を守るためにも、上流地区の浄化槽設置がさらに促進されるよう要望した。

労働諸費

シルバー人材センター運営について花笠作りも担っており、継続して支援を要望した。

農業振興費

スマート農業導入支援の農業用ドローンの操作研修費について、支援されるよう要望した。

多面的機能支払交付金が各組織が計画する長寿命化事業の推進に支障をきたさないよう、国・県に積極的に働き

かけるよう要望した。

商工振興費

プレミアム商品券発行事業の継続した支援を要望。また雪のラブレター20周年記念本発行はPR活動につなげ、動画などの映像コンテンツの制作についても検討されるよう要望した。

道路維持費

流雪溝負担金について負担割合の変更など見直しを要望。生活道路除雪補助金について複数の除雪補助制度が有効に活用できるように要望した。

中央診療所施設助定費

オンライン診療の導入に向けた診療体制の構築と民間医療機関、公的医療機関の役割の明確化を要望した。

3月定例会議案の審議 (議員の賛否表)

○：賛成 ×：反対 /：議長 欠：欠席

受 理 番 号	採決の結果	菅野 修一	星 川 薫	菅野 喜昭	安井 一義	大類 好彦	奥山 格	青野 隆一	鈴木 美子	和 田 哲	小関 英子	塩原 未知子	伊 藤 浩	鈴木 裕雅	鈴木 清
承第1号 令和2年度尾花沢市一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認について	承認	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承第2号 令和2年度尾花沢市一般会計補正予算(第12号)の専決処分の承認について	承認	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第1号 令和2年度尾花沢市一般会計補正予算(第13号)	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第2号～7号 令和2年度尾花沢市特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第8号 令和3年度尾花沢市一般会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第9号～14号 令和3年度尾花沢市特別会計予算	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第15号 尾花沢市おもたか奨学金基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第16号 尾花沢市社会教育条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第17号 尾花沢市地域福祉交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第18号 尾花沢市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第19号 尾花沢市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第20号 尾花沢市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第21号 尾花沢市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第22号 尾花沢市路線バス設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第23号 尾花沢市徳良湖周辺施設等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第24号 尾花沢市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第25号 尾花沢市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第26号 尾花沢市総合振興計画基本構想の議決に関する条例の設定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第27号 尾花沢市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金基金の設置、管理及び処分に関する条例の設定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第28号 尾花沢市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例の設定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第29号 尾花沢市定住促進住宅用地の貸付及び譲渡に関する条例の設定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第30号 尾花沢市庁舎建設基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の設定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第31号 尾花沢堆肥センターの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第32号 尾花沢市運動公園の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第33号 権利の放棄について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第34号 尾花沢市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第35号～36号 人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第37号 尾花沢市課制条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第38号 尾花沢市市有財産の管理及び処分等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第39号 尾花沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第40号 尾花沢市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議第41号 第7次尾花沢市総合振興計画基本構想について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第1号 尾花沢市議会議員政治倫理条例の設定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第2号 尾花沢市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第3号 尾花沢市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第4号 安心・安全で、ゆきとどいた教育の実現のために早急に30人学級の実現を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第5号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

補正 予算

令和2年度補正予算9案件が上程され、新型コロナウイルス感染症対策・農林水産業災害復旧事業費補助金や、専決処分などが原案通り可決しました。

令和2年度

コロナ・豪雪・ 災害対策など急務

一般会計 **11億8,079万円追加を可決**

- 除排雪・雪下ろし等費用……………4億6,868万円
- 農作物等災害対策事業費補助金……………350万円
- 中小企業者等除雪経費助成金……………600万円



- 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種委託料……………4,882万円
- コロナ支援 商工業振興費……………2,451万円
- コロナ支援 観光費……………1,016万円
- 新型コロナウイルス感染症対策積立金……………1億4,000万円

※専決処分とは…本来は議会が議決しなければならない事柄などを、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理をすること。

請願

令和2年請願第3号 (不採択)
「核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める」意見書の提出に関する請願
12月定例会継続審査
請願者
尾花沢九条の会
代表 鈴木ミツ工

北村山地区母親連絡会
会長 梅津 裕子
共立社生協北村山地域理事会
議長 元木ユキ子
原水爆禁止北村山地区実行委員会
実行委員長 須藤 和幸

令和3年請願第1号 (採択)
「安心・安全で、ゆきとどいた教育の実現につながる30人学級」の実現を求める請願
請願者
北村山教職員組合
執行委員長 植松 保信

令和3年請願第2号 (採択)
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める国への意見書採択に関する請願
請願者
山形県労働組合総連合
議長 勝見 忍

○：賛成 ×：反対 /：議長 欠：欠席

請願に関する賛否状況

受理番号	採決の結果	菅野修一	星川 薫	菅野喜昭	安井一義	大類好彦	奥山 格	青野隆一	鈴木由美子	和田 哲	小関英子	塩原未知子	伊藤 浩	鈴木裕雅	鈴木清
令和2年請願第3号	不採択	×	×	×	×	/	○	○	○	○	×	×	○	×	欠
令和3年請願第1号	採 択	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
令和3年請願第2号	採 択	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	×	欠

どうする！ どうなる？ 尾花沢

12人の議員は
こう **質** た だ し た

3月定例会 一般質問



一般質問 1 日目 一般質問 2 日目

○囲み数字が掲載

和田 哲	<ul style="list-style-type: none"> ① 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種 ② 出産祝い品の拡充 ③ JR・国道を俯瞰的に見たまちづくりの検討と大石田町との連携 ④ 银山温泉を目的地とする観光客の観光動線 	青野 隆一	<ul style="list-style-type: none"> ① 尾花沢市スマート自治体プロジェクト ② 福原地区内の流雪溝整備 ③ 学校統合 ④ 未来予想図検討委員会
鈴木由美子	<ul style="list-style-type: none"> ① 子育て日本一へどのように挑戦するのか ② 尾花沢中央診療所が果たすべき使命とは ③ 冬にめげない生活をするためには 	奥山 格	<ul style="list-style-type: none"> ① 新型コロナウイルスのワクチン接種 ② この冬の豪雪被害とその対策 ③ 令和3年産米の作付け面積の減少 ④ 保育施設のあり方に関する検討
塩原未知子	<ul style="list-style-type: none"> ① コロナ禍における学校教育の現状と課題 ② 徳良湖の景観を守りながらどのように歴史と文化を継承していくのか ③ スマート自治体推進 ④ 災害に強いまちづくり推進 ⑤ カーボンニュートラル宣言 	鈴木 清	<ul style="list-style-type: none"> ① 提言・意見交換会を受けての保育行政 ② 介護保険施行20年、「第8期」の課題 ③ 生活保護申請時の「扶養照会」
小関英子	<ul style="list-style-type: none"> ① 子宮頸がんワクチンの情報提供 ② コロナ禍の対策拡充 ③ ケアラー(介護者等)対策 ④ 空き家対策の拡充 ⑤ 防災対策の拡充 	安井 一義	<ul style="list-style-type: none"> ① 除雪対応 ② マイナンバーの登録促進 ③ 農産加工センター対応
伊藤 浩	<ul style="list-style-type: none"> ① 今年度の豪雪対策 ② 新年度の予算 ③ 新年度の農業政策 	菅野 喜昭	<ul style="list-style-type: none"> ① 除排雪対策 ② 尾花沢市への企業誘致等
鈴木裕雅	<ul style="list-style-type: none"> ① 総合振興計画 ② 補助金の在り方 ③ 空き家の管理 	菅野 修一	<ul style="list-style-type: none"> ① 「おもたか保育園の存続を願う」大勢の声にどう応えるか ② ウイズコロナ、アフターコロナ時代の第3セクターのあり方 ③ 再生可能エネルギーの推進

保育環境・サービスの平等化を図るための支援が必要だ！

市長…公立・私立とも職員の働く環境や待遇面も含めて検討する



鈴木由美子 議員

子育て日本一への挑戦

問 本町以外の地区の保育園が将来統合閉園すれば、多世代で住む意味が無くなり、本町を飛び越えて他市へ移り住むようになるとの意見がある。核家族化を推進し、人口減少を加速させてしまわないか。子育て日本一へ挑戦だからこそ、本町地区以外にも保育園を残し「尾花沢のどの地区に住んでも保育園があり安心の子育てができる」を推し進めるべきでないか。

答 現段階で本町地区以外の保育園を統合することは考えていない。公立・私立とも保育料は同じだが、それぞれの運営に係る経費が両

問 者間では大きく違う。職員方の働く環境や待遇面の充実も必要だ。市独自の支援の考えはどうか。

答 各園の現状や実態を十分にお聞きし、職員の働く環境や待遇面も含めて検討していく。

問 県が実施している「子育てタクシー」事業に、市独自支援のタクシー券の上乗せをしてはどうか。

答 まずは二ーズの把握と普及に努める。

問 花笠高原スキー場をさらに利用し、中学校の冬の課外授業で、尾花沢でしか経験できないことを推し進めてはどうか。

答 花笠高原スキー場無料利用券の活用促進と施設の有効活用で、子どもたちの学習が一層充実し

問 中央診療所が果たすべき使命

答 公的医療機関としての役割と果たすべき使命や課題とは何か。またどのような医療機関を目指すのか。

問 総合的な医療提供体制の構築を検討していく必要がある。具体的な方向性や役割については、あり方検討委員会での議論を踏まえた上で今後示していく。

問 第7次総合振興計画の「在宅医療の充実」と「オンライン診療などの導入」はどのような内

子どもたちの保育に関わる方々への感謝と評価を！



つばき…

問 冬にめげない生活

答 訪問診療や訪問看護の拡充、オンライン診療に対応できる環境整備を図る。

問 消融雪装置の補助対象を中学生のいる世帯まで拡大してはどうか。また除雪機購入補助制度について、市内在住者、移住者の助成額の差をなくすべきではないか。

答 消融雪装置補助は高校生のある世帯まで拡大、除雪機購入補助は、市内在住者も、移住者も、一律同額の、購入費の10%、上限10万円の助成金となるよう支援を拡充する。

ワクチン接種 変化する状況への対応は

市長…安心して接種できる体制を整えたい



和田哲 議員

問 現在の準備などに関する進捗状況や、今後のスケジュールなどに対する検討状況はどうか。

答 本市では、国が示すスケジュールに沿って準備を進めている。会場の日程と医療従事者の確保についても、市内医師会のご協力によって目途がついている状況だ。コールセンターの開設と予約システムの準備や、医師・看護師の派遣協力の調整と、アナフィラキシーなどの重篤な副作用に救急対応できるように医薬材料の準備も進めている。今後については、国が示すスケジュールが大幅に変更される可能性もあるが、安心して接種できる体制を整えていきたい。

問 予防接種法に基づき接種の努力義務が生じるようだが、接種を「受ける・受けない」の最終判断は個人に委ねられており、接種したくてもできない方への配慮が必要と考える。市としては、どのような姿勢を示し市民を支えていく考えか。

答 妊婦の方や接種にリスクを伴う方が、最も悩み、不安を抱きながら自ら判断しなければならぬ状況であることから、受けたくない判断した方の考え方も尊重していきたい。また、アレルギー反応や疾患の治療などにより、接種したくてもできない方が一定数いるため、ファイザー社のワクチンに関する注意事項を市民の方に理解して

問 出産祝い品の拡充

答 市民二ーズに即した見直しの検討が必要ではないか。

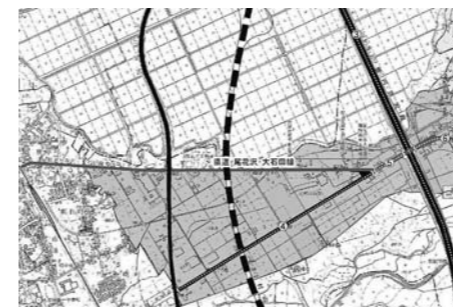
問 大石田町との連携

答 国道13号線と37号線の整備が進み、人・モノの流れが変化してきている。

JR大石田駅に近いエリアを開発できたらいいな～



つばき…



問 大石田町との連携

答 今後の市街地形成の方向性は、コンパクトな都市機能の集積を目指す必要がある。まずは、東側において住みやすいまちづくりの推進を優先していきたい。

問 出産祝い品の拡充

答 市民二ーズに即した見直しの検討が必要ではないか。

問 大石田町との連携

答 国道13号線と37号線の整備が進み、人・モノの流れが変化してきている。

老朽化空き家に「直接除去」の対策を

市長…他市町村の事例を研究、導入の可否など検討する



こせき えいこ 議員 小関 英子

問 今冬の豪雪による建物被害と危険空き家の実態はどうか。近隣への安全対策はどう行われているか。

答 豪雪による建物被害は住宅被害4件、非住宅被害4件で、うち空き家関連は3件あった。通学路をはじめ地域住民の往来が多い空き家は、公費での雪下ろしを9件、延べ12回実施した。また、通学路の変更や通行止めを実施し安全確保を行った。

問 尾花沢市不良住宅除却促進事業の実績はどうか。

答 令和元年度は申請が6件、不良住宅該当3件、事業実施2件あり、令和2年度は申請10件、不良住宅該当8件、事業実施

問 子宮頸がんワクチンの接種を受けた人数

子宮頸がんワクチン

答 大石田町の事例は、雪押場の確保と観光地として景観配慮の観点で、公共的な活用が必要とされ、土地建物は所有者から寄付行為で町有財産とし取得したものである。住民への被害がある場合は行政指導は行いが、公共事業が伴わない限り買上げは原則ない。今後は、調査研究と導入の可否など検討したい。

問 新型コロナ感染症予防対策として小中学

コロナ禍対策拡充

答 平成25年度39名、平成26年度2名、平成27年度、令和元年度までは0名、令和2年度5名の計46名が接種している。平成25年度から現在まで、副反応の報告はない。

問 校の蛇口(水栓)を、非接触型にする予定はあるか。

答 文部科学省で示されたマニュアルに沿って、手洗い・手指消毒・マスクの着用・こまめな換気に対応している。学校施設に関しては、学校側と何が優先か相談していく。

問 コロナ禍での差別や偏見をなくすため、愛媛県で立ち上がったシトラスリボン運動に取り組んではどうか。

答 山形県では、令和2年12月24日「コロナ差別ノー！宣言」を掲げ「あったかハートリレープロジェクト」に取り組んでいる。このプロジェクトに賛同し県と連携していく。

「ただいま」「おかえり」の声がいきかうおばなざわ



つぶやき…

徳良湖築堤記念にカーボンニュートラル宣言を！

市長…こだわらず、早い時期に記念事業の一環で行う



しおばら みちこ 議員 塩原未知子

問 豊かな自然を次世代に引き継ぎ、持続可能なまちづくりを実現するため、カーボンニュートラル宣言を徳良湖築堤記念日の5月27日に行うことはどうか。

答 記念日を待たず宣言はできるだけ早い時期に検討する。5月から新鶴子ダム水力発電による学校への電力供給を開始する。再生可能エネルギー利用やエネルギーの地産地消を教育機関と連携して啓発に取り組み。民間活力導入を積極的にい脱炭素社会を目指して行く。

徳良湖マスタープラン

問 今冬は豪雪のため湖畔の電柱や赤松が倒れ、電話が不通になった。

答 無電柱化はマスタープランの長期事業になっており、今年築堤100周年、花畑と湖畔の樹木管理を進めていく。また、レストラン徳良湖玄関と、トイレルニューアルや花畑の造成、花笠グラウンドの改修を行う。花笠踊り資料館は花笠の湯内に設置し、写真で見える徳良湖と花笠音頭のコーナーも考えたい。他、東側エリアの親水公園の整備のダム吐出口の管路工事は、令和4年より通水

災害に強いまちづくり

問 近年地震が多い。活断層直下にある公共施設の今後の対策は、どう進めるのか。また、高齢になれば雪処理が大変、家の減築にこそ補助し、町場の雪捨て場確保を進めてはどうか。

答 おもだか保育園は老朽化や少子化を受け、移転も含め検討する。尾花沢中学校は、小学校の改築

GIGAスクール構想

問 新年度、準備は整ったか。学びの場を工夫して、ICTは野外でこそ活用して欲しい。

答 タブレットは全員貸与で4月からプログラミング授業もスタートする。ICTに精通したサポートターを配置し、様々な場面面で工夫しながら進める。



徳良湖の豊雪(水)活用がおばねの未来を変える！



つぶやき…

ATVを観光・災害対応に活用しては

市長…順次備えて、観光・消防で活用したい



すずき ひろまさ 鈴木 裕雅 議員

問 福原工業団地への企業誘致での課題は何か。

答 労働力の確保が困難になっていることが課題。生産要員、技術者の確保に対しても苦慮しているのが実情。

問 企業誘致と従業員確保は問題だが、行政として工業用水整備が必要ではないか。

答 地下水を活用したいが鉄分が多い。上水道が敷設されているので活用し、工業用水に回す案もある。関係機関と相談しているが、明確な回答は出ていない。工業用水とはレベルが違い高い水準なので料金が問題。

企業誘致対策

問 銀山温泉と道の駅を結ぶ観光周遊ルート以外の観光はどうするのか。

答 重要な観光施設を線で結び、消費活動を促す機会を促す。地図アプリにより、ルート以外へのシャワー効果による、地域活性化を図っていく。

問 冬の周遊ルート観光をどう考えているのか。

答 徳良湖の白鳥、スノーランド、花笠高原スキー場など雪をメインに魅力的に考えたい。

問 ATV(全地形対応車)を観光・災害対応に活用してはどうか。乗車体験した市長の感想はどうか。

周遊ルート観光



ATV(全地形対応車)

答 たくましさを感じ、災害対応に必要だと感じた。豪雪地尾花沢には必要。順次備えて観光、消防で活用したい。

問 今後の流雪溝の考え方

答 流雪溝が整備されている地区と未整備地区を分け、整備課題をクリア出来ない未整備地区を指定特区に定め、補助するべきではないか。

スマート農業

問 スマート農業を推進するにあたっての考えはどうか。

答 高度な栽培技術を利用するため、自動操舵トラクターによる耕うん防除、ドローンによる防除、アシストスーツを活用した負荷作業軽減を考えている。併せて、全ての品目にICTの導入を支援したい。

問 流雪溝整備全体計画を中心に進めている。地区を分けるのは難しい。間口除雪、雪押し場の確保、早めの排雪、攪拌によりかき混ぜるなどの総合的処置を行うなど対応したい。

これからは防災、災害対応の両方を考えなくては



つぶやき…

農家の融雪作業に助成を行うべきである

市長…必要に応じた支援策を検討する



いとう ひろし 伊藤 浩 議員

問 豪雪による農業関係の被害額はどの位か。また、どのような支援策を検討しているのか。

答 2月末現在で農業用ハウスや畜舎の被災が34件発生しており、2千500万円の被害金額となっている。支援策として、国、県、市が連携し、損壊物の撤去費用や融雪剤の購入費用、道路の除雪費用の支援などを検討している。

問 春の農作業に向けた除雪作業が始まっている。育苗ハウスや、農地の除雪費用にも助成を行うべきと考えるがいかがか。

答 平成29年に、ハウスなどの圃場内除雪のための委託料や自力除雪作

豪雪対策について



ハウス用地の除雪作業

業経費を支援した経緯がある。今年は、3月に雪解けが進むとの予報もあるが、春の農作業に遅れが出ないよう状況を確認し、必要に応じた支援を検討していく。

新年度予算について

問 高齢化社会が進む中で、老人クラブなどの高齢者が、地域の活性化に寄与する役割が大きくなっている。若者の定着や子育て支援の施策と同様に、老人福祉施策も重要と考えるが、新年度予算の中でどのような施策が展開されているのか。

答 現在、市内には33団体の老人クラブがあり、1千160名の皆さんが活動している。新年度予算の中では、更なる健康増進と生きがいの場となるよう、活動の充実を図るための拡充した予算措置を図り、「健康長寿と絆のまち」の実現に向けて行きたい。

財政調整基金について

問 財政調整基金の残高目安を8億円としているが、残高見込みが6億2千万円となっている。今後8億円の基金を維持していくためにはどんな取り組みが必要と考えているのか。

答 今年度は新型コロナウイルス対策などで、約3億7千万円の取り崩しを行った。今後は8億円の基金を維持していくため、社会環境の変化に照らし合わせた効果的な予算配分を行っていききたい。

今シーズンの除排雪費はなんぼになるのか。雪が資源になればナァ



つぶやき…

おう いん 押印を見直すべきでないか！

市長…1,182件の申請書中413件の押印を廃止する



あおの りゅういち
青野 隆一 議員

問 証明書のコンビニ交付で、取得できる証明書はどのようなものか。また、手数料はどのくらいか。

答 マイナンバーカードを利用して、住民票や印鑑証明、課税・所得証明、納税証明などが全国のコンビニで取得できる。早朝6時30分から深夜23時まで、休日でも証明書の交付が受けられ、交付手数料は窓口と同じ400円を予定している。

福原地区内の流雪溝整備と負担金の軽減を

問 名木沢地区と荻袋地区の流雪溝整備の進捗状況はどうかか。

答 名木沢地区の国道13号西側(大海平方面)

のポンプアップが必要な区間については、令和3年度から事業着手し、早期完成を目指したい。荻袋地区については現在、消流雪用水の流量等調査を実施している。引き続き、早期事業着手に向け強く県へ要望していきたい。

問 寺内地区の流雪溝はポンプアップ方式で、利用者負担が1戸当り6千円と設置当初の2倍になっている。負担軽減を検討願いたい。

答 このポンプ施設は限られた地域の方々がその利益を受けるため、相対的平等は保たれていると理解している。

尾花沢中と福原中でどんな差があるのか

問 福原中と尾花沢中の学力の差はどのくらいあるか。また、それぞれの不登校やいじめの件数はどのくらいか。

答 教科全体の平均では、両校とも全国平均を上回っている。基礎知識や技能の定着については、少人数による指導の効果が表れている。反面、探究型の学習を進める上では、大きな集団で交流することが効果的であると思われる。いじめの認知件数は、全国よりも高い状況にあるが、集団の人数と不登校児童・生徒の発生率やいじめの発生率の相関関係に大きな差はないと考えている。

どうなる公立保育所

問 おもだか保育園保護者会から提出された「市立おもだか保育園の存続を願う要望書」についてはどう考えているのか。

答 今後、保護者の皆さんとともに、公立、私立を問わず市内全体の保育施設のあり方について、一緒に考えていきたい。

問 仮に私立2園に統合した場合、おもだか保育園の職員の処遇についてはいかがお考えか。

答 基本的には、他地区の公立保育所などに配置することになる。

「ハンコが無いとゲム」の市役所が大きく変わる



つぶやき…

ハウス損壊被害に農家負担の軽減を

市長…復旧費用の負担軽減を図っていききたい



おくやま きわむ
奥山 格 議員

新型コロナウイルスワクチン接種

問 ファイザー社のワクチンは、マイナス7度以下の超低温保管が必要で、解凍後5日以内で使いきる必要があるとされるが、本市ではどうなのか。

答 ワクチンの管理について、3月中旬に、国から本市にディープリザー1台が配送され、保管するが、接種日の予約人数に合わせて必要な本数だけ解凍して接種する予定だ。

問 注射した部位の痛みや腫れ、頭痛などの副反応の恐れもあり、まれに重いアナフィラキシー症状も出ることがあるが、本市ではどのように対応するのか。

答 ワクチン接種には医師3名が常駐し、看護師などを6名配置する。接種後30分程度会場に待機させ、経過観察を行う。万が一重篤な副反応が出た場合は、医師がすぐに駆け付け、救急対応できるように医薬材料の準備や救急対応マニュアルも準備し、市民が安心して接種できる体制を整えている。

問 一人2回接種する必要があるが、スケジュール管理はどうなのか。

答 1回目と2回目の接種間隔が3週間、それ以上はできるだけ速やかに接種することとされている。1回目の接種後、経過観察をしている時間を利用して2回目の予約をする。住所異動があっても接種記

今冬の豪雪被害

録を瞬時に把握することができるようになりたい。

問 この冬は市民が落雪きになり埋もれた事故が12月中に5件、1月中に3件あり、2名が死亡した。また屋根の雪下ろし中に転落した事故が6件など、今年の冬の豪雪を思うと、豪雪は災害であると感じた。亡くなった方に対する弔慰金や負傷した方に対する見舞金などを支給することはできないか。

答 今冬は災害救助法が山形県でも適用となり、災害弔慰金などの支給がされることになった。本市の2名の方にも支給される見込みだ。

問 キュウリ栽培ハウス、育苗ハウス、スイカ苗ハウスが積雪荷重により全壊8棟、一部損壊1件など、また畜舎6棟が一部損壊している。これらの農業被害は、豪雪による特別な被害である。損壊したハウスの復旧には、農家負担を軽減またはないような一層の助成が必要ではないか。

答 2月25日付で全農家へ支援策を周知するチラシを配布した。農業用ハウスの復旧支援をはじめ、損壊物の撤去費用に対する支援、融雪剤の購入支援、農作業道の除雪費用に対する支援など国・県・市が連携して被害状況に応じたきめ細かな支援を行い、被災農家の復旧費用の負担軽減を図っていききたい。

今年の豪雪による災害復旧費用の軽減を！



つぶやき…

どんな気持ちで保護者は要望書を出したか

市長…10年先を見据え、公私を問わず検討したい



鈴木 清 議員

公立園存続に市民と保護者が立ち上がったことの重要性をうけとめるべきだ。



つぶやき…

問 5地区の意見交換会では、①小さい保育園でも先生と地域の方々の目がゆき届き温かい ②公立をなくすのは市民無視。私立2園に統合は極端な考えであり、公私を選ぶ選択が必要 ③保育は採算でなく、子ども第一に考えてほしい—など沢山の市民の声があった。市長はどのように受けとめているか。

答 「少子化だから仕方ない」「小学校の統合に合わせた統合すべき」との意見がある一方、「本町地区に公立保育園を残してほしい」「各地域の保育園はできる限り残して欲しい」などの意見をいただいた。今後更に幅広く市民の皆様の声をきき、基本的な方向性を検討すべきと考える。

問 保護者から「おもだか保育園の存続を願う要望書」が提出されたが、どう回答するか。

答 想定を上回る少子化の現状を踏まえ、公立・私立を問わず市内全体の保育施設のあり方について、一緒に考えていただくようお願いした。

介護保険施行20年、「第8期」の課題

問 昨年制度が創設された20年となった。介護の社会化“をスローガンに「第8期」を迎える。本市の第1号被保険者（65歳以上）の要支援・要介護の認定率はどれ位か。

答 第1号被保険者数6千274名、認定者1千

158名で18・5%、全国平均18・7%と同程度となる。

問 特別養護老人ホームの入所状況と待機状況はどのようか。

答 入所定員は3施設で189名。入所申込者数は171名、要介護3以上の在宅者37名と在宅以外の申込者は134名いる。

問 養護老人ホーム「万寿荘」の事業が令和4年度をもって廃止されること伝えられたが、役割の重要性から、市で継続する考えはないか。

答 「万寿荘」は平成28より定員割れが続き、継続運営は困難との判断に至ったようだ。入所者減の様々な要因から、市の施設運営の継続は難しいと考える。

生活保護申請時の「扶養照会」

問 国会の審議で、厚生労働大臣が「生活保護で扶養照会は義務ではない」と発言している。申請をためらう大きな壁となっている3親等までの親族への扶養照会はやめるべきではないか。

答 本市の扶養義務調査は2親等（親・子・兄弟）内の血族で訪問または文書により確認作業を行っている。真に援助が必要な方には、しっかりと寄り添い対応していきたい。

除雪対応

問 交差点での雪壁により確認できにくいところがある。交差点の安全確保のため、現在の除雪機で雪壁を作らないような除雪対応はできないか。また、交差点角に雪山とならないように見通し確保のため専従での作業対応が必要ではないか？

答 また過去の同程度の積雪での費用と比較してどうか。

答 雪押場が限られていることから交差点付近に雪をためざるを得ない。危険箇所を随時パトロールし、一定の高さを保つよう早めの排雪を実施し、安全への配慮に努めている。県道部分も要望に対応している。

マイナンバー登録促進

問 マイナンバー登録促進のための市独自の登録促進の対策が必要と考える。またマイナンバーカードの登録件数が伸びていないのはなぜか。PRの強化と得点強化の検討が必要ではないか。

ただいている。雪山の専従対応については、県において地区が実施主体となつて歩道部分の除排雪を対象とした「ふれあいの道路愛護事業」があり活用団体の事例があり、一つの方法であるといえる。専従対応は道路管理区分、実施主体、費用など課題があるが、さらなる細かな除排雪を実施していただくよう要望していく。

農産加工センター対応

問 尾花沢農産加工の経営改善に向けた商品の見直しや新商品開発の進捗状況は。また、畑作地への奨励金を行い、原料確保に努めてはどうか。

答 カードを持つていない人も不便を感じず、メリット感がなかったため。今後は各種証明書のコンビニ交付サービス導入や健康保険証、令和6年度までに運転免許証との一体化を実施する方針であることから一層加速していく。市役所の窓口だけでなく公民館行事や企業にも出向いて申請窓口を設ける。



新商品・新パッケージ

尾花沢らしさのこだわりをもって開発販売しよう！



つぶやき…

マイナンバー登録でITへの参加を

市長…申告を公民館行事や企業に出向いて窓口を設ける



安井 一義 議員

おもだか保育園の存続を願う声にどう応えるか

市長…これからの話し合いのスタートと捉えている



菅野 修一 議員

問 保護者大多数から存続を求める要望を振り切って私立2園に統合を推進していくのか。

答 想定を上回る少子化の現状を踏まえ、公立、私立を問わず、保育施設のあり方について、一緒に考えていただきたいとお願いした。

問 市の保育業務に携わる方々は、一様に動揺されている。話し合う場はどうか。

答 市として方向性を示せる段階ではない。幅広く市民の声を聞きながら、保育行政に携わる方々と一緒に保育施設のあり方を考えていきたい。

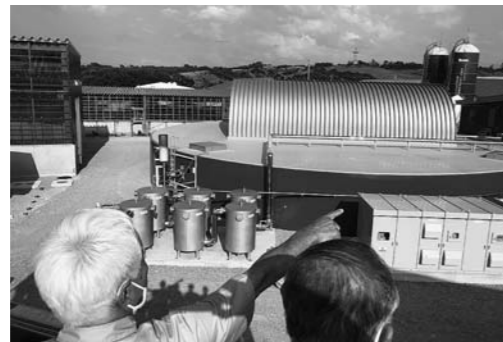
再生可能エネルギーの推進

問 第7次総合振興計画では、早期に新エネルギー推進事業計画を策定し、エネルギーの地産地消に取り組みとしている。ゼロカーボンシティに踏み出す積極的な実行計画を望みたいが。

答 ゼロカーボンへの取り組みは地球温暖化防止と共に持続的に発展していくための責務であると捉えている。今年5月から新鶴子ダムの水力発電の電力を市内の小中学校に供給する予定であり、教育機関と連携し、啓発活動に取り組んでいく。活動計画は、尾花沢市環境基本計画を見直し策定し、市民へ周知を図っていく。

問 水力や風力そしてバイオマスなど、本市は再生可能エネルギーの宝庫である。里山資本主義の著者、藻谷浩介氏は「過疎地再生の決定版は、再生可能エネルギーの導入にある」と結論付けている。これを積極的に推進することこそ本市の明るい未来を開く絶好のチャンスではないか。夢にあふれるまちづくりをデザインしてはいかか。

答 雪氷熱、太陽光なども含めた資源を上手に活用できれば、新たな雇用や地域経済の活性化などまちづくりの好影響が期待される。水力発電は、国・県の実績があり、風力発電は民間事業者の調査が積極的に実施されている。一方



飯豊町バイオマス施設

で豊富な森林資源や家畜糞尿を利用するバイオマス発電もあり、課題をクリアして可能性を調査していく必要がある。再生可能エネルギーを推進していくには、民間事業者と地域や市との連携を図りながら、再生可能エネルギーを活かした活力あるまちづくりに繋がっていききたい。

保護者会の皆さんの切実な意見を読めば子ども子育ての課題が見えてくるね



つぶやき…

間口除雪の対象世帯は

市長…市道沿線のお宅が対象



菅野 喜昭 議員

問 市長選挙の際、公約のひとつに「流雪溝の整備・間口除雪の推進」とあった。市長就任以来、流雪溝整備の進捗状況は。また、間口除雪については、市道・県道・国道各沿線沿いに世帯は点在するが、全世帯が対象なのか。

答 流雪溝の進捗状況については、県道の側溝整備が、H30年度に3路線273m。R元年度に1路線140m。本年度は用地買収と測量設計と3年間で413m完了した。市道の流雪溝整備は、H30年度に3路線715m。R元年度に4路線1千236m。R2年度は、2路線764m。3年間で計2千715m完了した。また、本年度、本町地区流雪溝へ矢込排水路からの導水路整備工事を完了し

除雪券の配布対象者の基準は

問 除雪券は高齢者のみの世帯や一人暮らしの世帯に対し、悲惨な事故の防止や生活の支援のために交付されているようであるが、配布対象者の基準についてお訊ねする。

答 ①65歳以上の高齢者のみの世帯、②重度

心身障害者のみの世帯、③高齢者に加え重度心身障害者がいる世帯であることに加え、自力の除雪が困難で親族からの支援が受けられないこと、世帯全員の当該年度の市県民税非課税、または均等割りのみの世帯の方が対象となる。対象者選考にあたっては、申請や発行に関する手続きもあわせて、各地区の民生委員よりご協力をいただいている。

問 除雪券は当初4万円分、追加で1万円分交付したと聞いている。世帯により除雪費などは異なると思うが、除雪券の交付により今冬の大雪では、どの程度の助成率になったと考えているか。

答 除雪券は基本的には、1世帯あたり4万円分の除雪サービス券を交付しているが、今年度は、豪雪対策本部が設置されたことにより、1万円分を追加交付している。

除雪に係る費用は、各家庭で違いがあるため一概には言えないが、シルバー人材センターの1日あたりの単価が1万1千円でお願していることから、2人分で2万2千円の2回分の経費になると思われる。

なお、2月末現在で、発行世帯数は480世帯で、利用率は53・1%となっている。

間口除雪は、全市民公正・公平でないよね



つぶやき…

『コロナ差別ノー！宣言』

尾花沢市議会は、県民運動（あつたかハートリレープロジェクト）に賛同しています。



コロナ差別ノー！宣言

私たちは、私たちの生活を支えている方々への感謝の気持ちを忘れず、あたたかい思いやりの心をもって、差別や誹謗中傷のない山形県づくりに取り組んでいくことを宣言します。

- 1 私たちは、感染者や医療従事者、その家族等への差別や誹謗中傷は決して行いません。
- 2 私たちは、医療従事者をはじめとした、県民生活を支えている方々に感謝し応援します。
- 3 私たちは、県民一人ひとりが思いやりの心を持ち、一丸となってコロナを乗り越えていきます。

令和2年12月24日



山形県



オンラインで議会改革を学ぶ

今年1月29日に、議会改革度調査2019の総合ランキング全国第9位の岩手県奥州市議会と初めてオンラインでの行政調査を実施しました。

- ① 予算や決算特別委員会では、必ず付帯意見を付すほか政策提言を決議している。
- ② 二元代表制である議会として、議案撤回や上程見送りをさせた。
- ③ 常任委員会ごとにテーマを設け、ワールド・カフェ形式のワークショップで、市民との対話から政策提言を行っている。

今回、コロナ禍で必ずしも現地に行かなくても、十分に必要とする研修や情報収集することができました。さらに、私たちの議会改革を前進させていく決意です。

行政調査 (議会運営委員会)



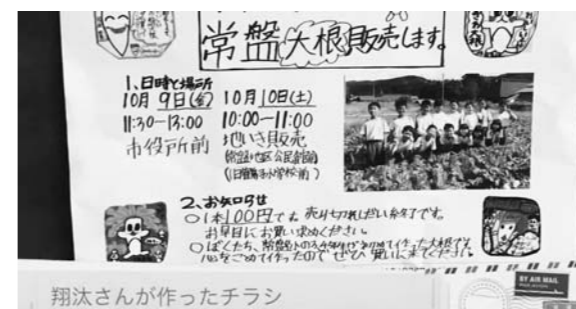
広域組合議会の報告

本市3作品が受賞

北村山広域行政事務組合議会

3月22日、村山市議会議場にて定例会を開き、令和3年度一般会計予算9千73万円と、3市1町の負担金を原案通り可決しました。
令和3年度の3市1町の負担金は下記の通りです(本市負担率18.7%)。

市町名	負担金
尾花沢市	1,628万円
村山市	2,663万円
東根市	3,419万円
大石田町	979万円
合計	8,689万円



第70回山形県自作視聴覚教材コンクール児童生徒作品部門では、尾花沢中学校芸術部作「レジ袋の有料化から考える」と、常盤小学校3・4年生作「常盤大根プロジェクト」が入選。尾花沢中学校芸術部作「おらが国で自慢なきゆうり」が、最優秀をいただきました。

コロナで患者数減少

北村山公立病院組合議会

北村山公立病院組合議会第1回定例会が令和3年3月26日東根市議場で開かれ、令和3年度組合事業会計予算など5議案が上程され、いずれも原案通り可決して閉会した。令和3年度組合事業会計予算は、年間の入院患者数を8万2千15人、外来患者数を9万3千170人と予定し、病院事業収益を52億6千259万円、病院事業費用を56億8千211万円とした。
令和2年度組合事業会計補正予算は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外来、入院とも患者数が減少したことにより、病院事業収益を1千941万円減額し、52億3千580万円とし、病院事業費用を1千162万円減額し、56億4千606万円とした。また、令和2年度3市1町負担金の額は、地方交付税の加算措置に伴い、東根市1千191万円、村山市682万円、尾花沢市336万円および大石田町153万円を増額補正した。

北村山公立病院負担金

市町名	負担金
尾花沢市	1億3,785万円
村山市	2億7,102万円
東根市	4億6,138万円
大石田町	6,009万円
合計	9億3,034万円

ごみ焼却炉補修工事に1億1千97万円

尾花沢市大石田町
環境衛生事業組合議会

3月24日に定例会を開催し、令和3年度各会計予算など10議案が上程され、全て原案通り可決した。
一般会計の負担金は、尾花沢市4億685万円、大石田町1億8千846万円とした。
主な歳出は、ガス化溶融施設維持管理補修工事請負費1億1千97万円、不燃残渣等埋立委託料392万円とし、白鷺最終処分場の延命化のために不燃残渣も民間処分場へ委託することで、令和50年以降も使用可能となる。
尾花沢市大石田町地域循環型社会形成推進地域計画(第2次)と、上水道事業経営戦略(令和3年度、令和12年度)に質問が出された。